

〈精神に障害のある方の気軽な相談場所・交流の場〉



# 地域生活支援センターあさやけ通信

# 「風」

社会福祉法人ときわ会 地域生活支援センターあさやけ



〒187-0031 小平市小川東町 4-2-1 小平元気村おがわ東 1 階  
TEL (相談用) 042-345-1741 (事務用) 042-345-2077  
FAX 042-345-1734  
E-mail kaze1741@asayake.or.jp  
ホームページ [http://www.asayake.or.jp/center\\_asayake.html](http://www.asayake.or.jp/center_asayake.html)

## 精神障がい者向けの運賃割引実現をめざして

～JR や私鉄の割引導入を急ぐ声高まる～

全国の鉄道会社175社のうち、精神障害者向け運賃割引を実施しているのは、半数あまりの97社にとどまっていることが、1月23日の東京新聞朝刊に掲載された。(国土交通省の資料による)

しかし、取り上げられている内容は、首都圏や中京圏の都市部ではほとんど実施されていない。身体・知的障害者はほぼ全社で割引対象となっているので、障害の違いによって対応の差が生じていることになる。

東京都では、平成12年10月より、都営交通のすべての路線で、精神障害者にも無料乗車証が発行された。以前より身体・知的障害者には対応しており、東京都内の精神障害者8団体で構成する、東京都精神保健福祉民間団体協議会(略称:都精民協)は、平成7年から、精神保健福祉手帳の福祉サービスの充実を求めて、都福祉保健局や都交通局、都議会等に要望活動を行ってきた。都議会へは、署名を集めて提出もした。この署名活動を広げていくために、や身体・知的の障害者団体にも支援を求め、新宿駅頭でのアピール行動も行った。

5年に渡る要望活動が実り精神障害者にも無料乗車証が実現した。その成果を得て民営鉄道にも働きかけを続けた。民営バス協会は、精神障害者が乗車する際に精神保健福祉手帳を提示し、本人確認のために顔写真のついているものの提示とし、運賃半額の割引を実施した。都営交通の無料乗車証と民営バスの半額割引が実現したことで行動範囲も広がり、都心への買い物や映画、美術館等の文化的な活動も気軽に出来るようになった。その後も民営鉄道やJRへの働きかけを行っている。

記事によると、精神障害者の鉄道の割引について国は「民間の判断に委ねられている。」と見解を示す一方、鉄道会社側は「必要な財源は国が負担すべきだ」との立場で折り合っていない。障害の為、仕事で十分な収入が得られない当事者らは、身体、知的障害者と同様の制度の実現を求めている。この問題に詳しい大学の教授は、「精神障害者の社会参加に向け、全国一律の運賃割引が求められているが、財政状況が厳しく踏み出せない鉄道会社もある。公共性の高い分野でもあり、財政負担などで、国が主導的な役割を果たすべきだ」と語っている。一日も早い実現を望みたい。



## 節分 豆まきしました

2月3日(木) 節分  
交流室にて、恒例の豆まきをしました。  
今年も、コロナの影響が続く中、日頃の邪気を  
払おうと、みなさん思いを込めて  
「福はーうち」と豆をまきました。  
皆さんの邪気も飛んでいき、福が入ってき  
ますように～。



## 精神障害者ボランティア講座に参加してみて

2月5日 中央公民館で精神保健福祉ボランティアの会ひだまりによる精神保健福祉ボランティア講座が行われました。吉田諭史さんに当日体験談を話していただきました。～以下感想～

当事者である私は自分の体験をお話することができるのは、とても有難く思っています。  
もともと私は人前に出て話しするのは得意でなく、学生の頃は、クラスの前で立って何か話したり  
するのも苦手でした。ですが、現在の私は体験談を話したいと思っています。

入院中の当時の気持ちは、病気になって「入院する前の充実していた人生に戻りたい」「なんで私だけが」  
「悔しいな」そんなマイナスな気持ちで長く入院してしまいました。  
しかし今回のように体験談を皆さんが聞いてくれて、なにか参考にして  
いただけるのであれば、病気になってしまったことや入院したことも私にとって無駄ではなかったと思えますし、気持ちが報われます。  
これからもいろいろ活動して、その経験や気持ちを、将来的に体験  
談としてお話することができたら嬉しく思います。

吉田 諭史

## 支援センターのお知らせ

### ～現在の交流室の開所状況～

- 三部制 一部のみの時間帯 (後半10分は消毒の時間)  
①12:00～13:50 ②14:00～15:50 ③16:00～17:50
- 定員は各13名です。  
13名を超える場合には、早い時間帯からいる方から譲り合ってお帰りいただくようご配慮をお願い致します。
- ご協力お願いしたい事  
引き続きの感染予防、手洗い、検温、アルコールの手指消毒  
風邪症状のある時の交流利用はおやめください。  
\*入室記録に、検温、入退室時間の記入(特に退室時間)の記入を忘れずに行ってください。
- プログラムについて  
2月は書道のみ行っています。  
\*3月のカレンダーにプログラムの予定が含まれていますが、今後の感染状況を踏まえ、変更の可能性がります。

## 訃報

島村進さんが2月5日入院先の病院で逝去されました。享年74歳

支援センターあさやけ7の開所以来から利用されていて、夕食会や新年会、一泊旅行にも一緒に行きました。また、回復者クラブぶんぶんクラブやクラブハウスはばたき、なごみ等にも参加して、長年地域で多くの方々と活動を共にしてきました。心からご冥福お祈りします。 伊藤善尚



## 地域のお知らせ

### あさやけ自主製品・展示販売します♪



**@茶間茶間** (小平市学園東町 2-4-7 旧豊生画廊)

2月14日(月) 15日(火) / 3月14日(月) 15日(火)

10:00～17:00

アクセサリ、革製品、雑貨小物等の販売を行います。

ときわ会の自主製品もたくさん置いてあります!!

お問い合わせは、あさやけ第二作業所へ

042-345-1564



### 市報より <新型コロナワクチンの3回目の接種が始まっています>

現状では、2回目の接種完了日から6ヶ月以降に3回目の接種が可能となっています。時期が来ましたら、接種券が郵送されます。1回目2回目の接種がまだの方も接種の予約を取ることが可能です。

接種の時期の確認や予約の取得等は小平市コロナワクチンコールセンター0120-985-365 へお問い合わせください。何か心配なことや気になること、予約取得が不安な方は、職員にお気軽にお声かけください。

### 精神障害者家族教室

身近な病気「統合失調症」の基本的知識とともに生活しづらさを抱えた精神障害者の地域での生活実現に向けた最近の医療、訪問看護の取り組みを学びます。

会場:小平市福祉会館(小平市学園東町 1-19-13) 参加費:無料

定員:50名程度 申し込み不要。当日、直接会場にお越しください

第1部 2022年2月12日(土)  
13:30～16:00

その人らしさを大切にした  
訪問看護について考える

講師:原子 英樹 氏  
(株式会社円グループ 訪問看護部門)

第2部 2022年3月12日(土)  
13:30～16:00

精神障害者の回復と家族の役割

講師:山澤 涼子 氏  
(大泉病院 精神科医)

主催 小平市けやきの会(精神障害者家族会)  
TEL:042-343-4559(小嶋) 後援:小平市

この事業は歳末たすけあい地域福祉活動募金による助成を受けています。

# 地域生活支援センターあさやけ

<相談> 月～金 10時～18時  
土 12時～18時

<交流室> 月～土  
①12時～13時50分  
②14時～15時50分  
③16時～17時50分

いずれか一部の時間帯を利用できます！



2022年

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3 職員会議 閉所日	4 12:00～13:50 女性の交流室	5	6
7	8	9 <del>女性のための ・・・書道</del>	10 <del>13:30～14:30 スポー</del>	11 12:00～13:50 女性の交流室	12	13
14	15 <del>14:00～15:50 音楽の時間 元氣村第二会議 室</del>	16	17	18 12:00～13:50 女性の交流室	19 サタデー ひだまり	20
21 春分の日 閉所日	22	23 女性のための ・・・書道	24 風の会 ピアなかま会	25 12:00～13:50 女性の交流室	26	27
28	29	30	31 SST			

交流室は感染対策をしながら継続しております。  
来所される皆様の、健康管理も重要となっておりますので、引き続き感染対策へのご協力と、ご理解をお願いいたします。

## プログラム<sup>☉</sup>マークの

### <通常プログラム>

感染予防対策を徹底し時間を短縮したうえで、下記のプログラムを再開します。

- 風の会 ・14時～14時半 センターからのお知らせ、報告会。
- 女性のための書道 ・10時半～11時半 参加費50円。書道を楽しむ会。
- 女子会 ・13時～13時50分 月に1回程度、女性の交流室と合わせて行います。
- OSST ・16時半～17時半 みんなでゲームをしたり、困ったことを話し合えるプログラム。
- ピアなかま会 ・14時半～15時半 テーマに沿って、なかま同志が気持ちや体験を話し合える場

3月15日までのプログラム（9日書道、10日スポーツ、15日音楽の時間）は中止とします。  
今後の再開や開催の方法については随時お知らせいたします。

3月3日(木)は職員会議のため閉所日とさせていただきます。よろしくお願いいたします。